

# 嶋満神社便り

令和六年 五月号(第四十四号)

発行 嶋満神社奉賛会

私たちの心をやきもきさせた、例年よりやや遅い桜の季節も過ぎ、新緑のまぶしいさわやかな季節となりました。会員の皆様にはお健やかに過ごしのことと思ひます。

さてこの春先から、今まで一度は行ってみたいと思っていた、何か所かの有名な神社にお参りすることができましたので、一部その様子をご紹介させていただきます。

## 石上神宮(いそのかみじんぐう)

「日本で最古の神社」と言われる神社の一つです。

そしてそう、あの「国宝、七支刀」がご神宝として伝わる神社と言えば、ご存じの方も多いでしょう。

鉄剣に刻まれた文字が判別し難く、百濟から

「献上された」のか、

はたまた「下された」

のか、よくわからない

ところが歴史の面白さ

ですね。

さらに面白いのはこの石上神宮の御祭神は物部氏の祖先、饒速日(ニギハヤヒ)ですが、この神様は瓊瓊杵尊(ニギノミコト)の天孫降臨よりも先に大和に天下っており、既に大和地方を治めていました。それが神武東征の際にいち早く神武天皇に従った神様で、そのお陰(?)で、

瓊瓊杵尊(ニギノミコト)

と同様に天照大神(アマ

テラスの子孫ということ

になっていきます。

大和政権誕生の神話を

自分ちの氏族の神話に取

り込んで、存在意義と言

うか、正当性を誇ったの

でしょうね。



七支刀

もう一つ、日本国中に神社は約八万社(神社本庁管轄分)と言われる中で「神宮」と名乗れるのはほんの一部にすぎません。今は神社の社号は自由に名乗れますが、神社本庁内ではその名称は厳格に管理されています。そのご祭神は主に皇族の祖先を祀るところのみとなっているようです。

## 大神神社(おおみわじんじや)

こちらも「日本で最古の神社」と言われる神社の一つです。と言うより「三輪そうめん発祥の地」の方がご存知の方も多いかも。

また、銅製の大鳥居も有名ですね。

この神社は「創建が古い」というよりも最古の祭祀の姿を現代までとどめているところに特徴があります。

つまりこちらには

「一本殿」はなく、「拝殿」のみであり、「神体」は「神体山」である「三輪山」、御祭神である大物主神(オオモノヌシノカミ)が居られる山そのものなのです。

お参りの時は立派な拝殿から山に向かって拝むことになりま

す。お山は「禁足地」で上ることはできません

が、「登拝初穂料」三百円を払えば入山できるようです。

但し「参拝に關係の無い行為は禁止」と書いてあります。

そのほか奈良には「天和神社」はじめ「日本最古の神社」がいくつもあり、我が国の「はじめの姿」を現しているようで実に興味深いものがあります。

